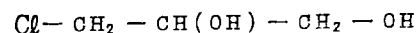


3-クロロ 1, 2-プロパンジオール (エピクロ
ヒドリンの加水分解物) の分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和50年4月22日～昭和50年6月12日
2. 試料名 3-クロロ 1, 2-プロパンジオール
(エピクロヒドリン 試料K-52の加水分解物)
- 分子式 $C_3H_7O_2Cl$
- 構造式



3. 試験方法及び条件

環 保 業 第 5 号
薬 発 第 6 / 5 号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による
49基局第392号

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

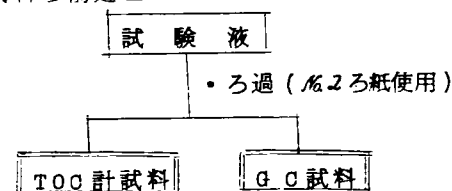
3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

ガスクロマトグラフ 検出器FID

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

全有機炭素分析計 (TOC計)

流速 TC回路 200 ml/min

温度 TC炉 850℃

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器FID

キャリアガス N_2

充てん剤 20% PEG-20M/ガスクロムQ

ガラスカラム 2mmφ×1m

カラム温度 148℃

4. 試験結果

	分解度 (%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	67.9	1	—
TOC計による結果	84.3	2	1
GCによる結果	92.5	3	2

5. その他

エピクロヒドリン (K-52) の加水分解物 3-クロロ 1, 2-
プロパン ジオールについて分解度試験を行つたが操作上特に問題と
なることはなかつた。

以 上